

6月村議会定例会報告

村議会定例会が6月8日に開かれ、補正予算等7議案が審議され、いずれの議案も原案どおり可決されました。

補正予算

◆一般会計補正予算(第1号)

(内容) 歳入歳出予算の総額にそれぞれ2250万3000円を追加し、歳入歳出予算の総額を18億7250万3000円とするものです。

◆国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

(内容) 歳入歳出予算の総額に76万5000円を追加し、歳入歳出予算の総額を5億76万5000円とするものです。

◆介護保険特別会計補正予算(第1号)

(内容) 歳入歳出予算の総額に37万8000円を追加し、歳入歳出予算の総額を4億6227万8000円とするものです。

条例改正等

◆東秩父村行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例制定について

(内容) 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律により個人番号による情報連携の開始に伴い、東秩父村行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正するものです。

◆東秩父村道路線の認定について

(内容) 村道路線について新たに管理するものです。

人事案件

◆東秩父村教育委員会委員の任命について

(内容) 委員の保泉真理子氏が平成29年8月19日をもって任期満了となるので、同氏を再度任命したので、この提案をするものです。

議員提出議案

◆東秩父村手漉き和紙の日を定める条例制定について

(内容) 11月27日を東秩父村手

漉き和紙の日と定め、東秩父村手漉き和紙の文化の振興と手漉き和紙産業の発展を図るものです。

一般質問

福島 重次 議員

質問 県道11号線の大型車通行について

(内容) 平成27年3月に架設した「ふれあい橋」は秩父鋳業の大型車が通行し、県道11号線周りで物資を運搬することでした。が、急遽、県道11号線を「行き」、「ふれあい橋」經由村道1-1号線を「帰り」とする通行方法をとっていました。理由は県道11号線の淵山付近が狭小であり大型車の通行が困難なためと過去に答弁いただきました。しかし最近、大型車が「行き」「帰り」とも県道11号線を通行しているのを確認しました。通行方法を変更した理由について

答弁 平成29年1月13日に秩父鋳業株式会社が来庁し大型車両の通行について協議を行いました。往復異なる通行方法になっ

た理由の県道11号線の淵山堰付近については、平成28年4月にモルタル吹付箇所凹凸除去工事を行い、以前より通行の危険度が軽減されていると考え、平成28年11月のふるさと商工祭の来場者の安全確保の観点から大型車両が試行として村道1-1号線を通行せず、往復ともに「ふれあい橋」および県道11号線を通行しましたが、以前より通行しやすくなったとのことでした。村としても、村道1-1号線は通学路であり、和紙の里に關しても道路を横断する歩行者が非常に多く危険であることから、大型車両は、幅員が広く安全な村道1-2号線や県道を通行することが、交通安全上好ましく、また、ふれあい橋架設当初の計画であった通行方法となるため、秩父鋳業株式会社の申し出を平成29年1月23日に了承したためです。

田中 秀雄 議員

質問 東秩父村簡易水道について

(内容) 埋設後40年を経過し、漏水、老朽化が懸念されます。水道管の早期入れ替え工事が必要と考えます。

①基本計画の有無について

答弁 現在、東秩父村では平成23年度に策定した「東秩父村総

合振興計画基本構想の前期基本計画が終了し、平成28年度から平成32年度の後期計画を進めています。その中で、水道事業において、給水人口の減少、施設の老朽化や事業環境の変化に伴い給水収益の減少、水道事業運営基盤の強化、安心・安全な給水の確保、水道サービスの充実、耐震対策などの課題があります。そのため、水道事業ビジョン等の策定により、現状を分析・評価し、「安全」、「強靱」、「持続」の3つの観点から、中・長期的な視点において、災害に強く安全で安心な水を供給すると策定しました。今年度を含め2年間で基本計画・アセットマネジメント・施設耐震化計画・経営戦略等を含めた水道事業ビジョン等の策定に着手します。

②工事の経費、補助金の目安について

答弁 更新事業は、かなりの予算を投じることが予想されますので、計画策定業務委託の2年度目の経営戦略業務の中で、事業概要から将来の事業環境・経営の基本方針・財政計画等を検討し、厚生労働省からの補助金および交付金の適用、および過疎債も予定し、また、料金等の改正も視野に入れながら事業を実施できるように計画策定しま